

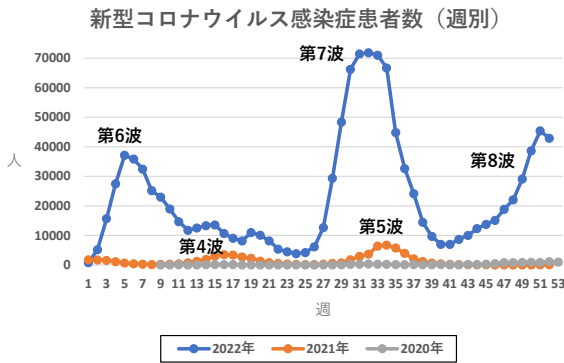
HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 2022年第52週(12月26日~1月1日) 兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康科学研究所)

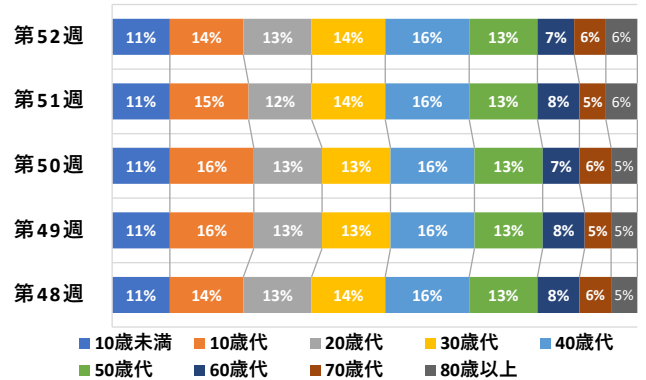
Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

新型コロナウイルス感染症等に関する情報



新型コロナウイルス新規感染者の年齢階級別割合



兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は今週 **42,949** 人(先週 **45,428** 人)で、対先週比 0.9 倍となりました。

年齢別においては、40歳代が16%と最も多く、10歳代及び30歳代が14%となっており、30歳代以下の世代の占める割合が52%となっています。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少しましたが、年末年始であった影響もあり、今後の感染状況は引き続き注視していく必要があります。また、インフルエンザも流行開始の目安である定点あたり患者数1.0人を超え、同時流行が懸念されます。感染症の拡大を防ぐためにも、今後も引き続き基本的な感染症対策や積極的なワクチン接種をお願いします。

※2022年9月26日(月)から全国一律で全数届出の見直しが行われたため、集計方法が変更になりました。(健康フォローアップセンター等からの報告数を含めています。)

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

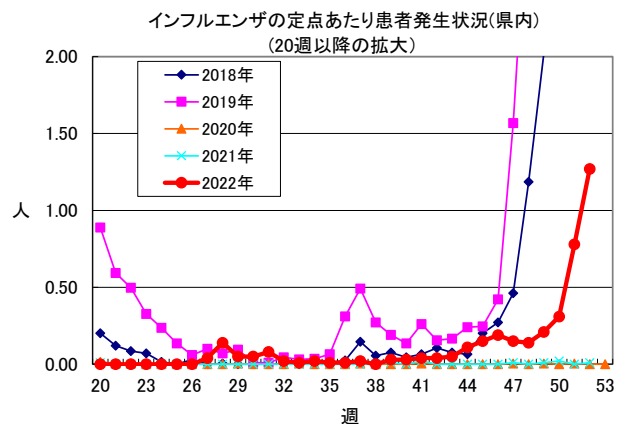
インフルエンザ

定点あたり患者数は、今週 **1.27** 人(先週 **0.78** 人)と増加し、流行の目安である定点あたり1.0人を超えました。県下17保健所では、尼崎市、姫路市、西宮市、明石市、宝塚、加東、朝来、洲本保健所管内が、定点あたり患者数1.0人を超えています。

今週の患者253人の年齢分布は10~14歳53人、15~19歳38人、7歳20人の順で多くなっています。

また、当研究所では今シーズン、県内の患者から **AH3 亜型(A 香港型)** 8件のインフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	3.95	5.67	-1.72	6位	RSウイルス感染症	0.17	0.27	-0.10
2位	インフルエンザ	1.27	0.78	+0.49	7位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.14	0.19	-0.05
3位	流行性角結膜炎	0.21	0.40	-0.19	8位	突発性発しん	0.12	0.13	-0.01
4位	手足口病	0.19	0.51	-0.32	9位	無菌性髄膜炎	0.07	0.07	±0.00
5位	咽頭結膜熱	0.18	0.19	-0.01	10位	水痘	0.06	0.07	-0.01

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

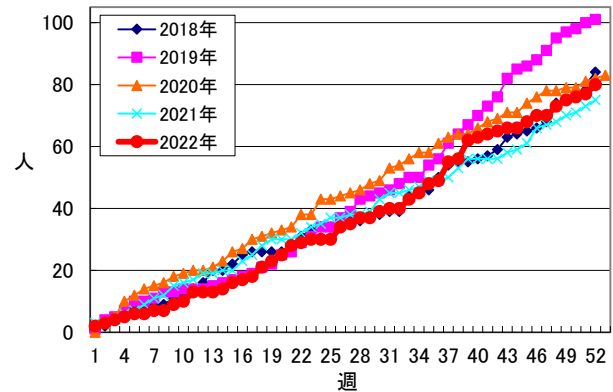
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 4人 （保健所：宝塚管内1人、加古川管内2人、龍野管内1人）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	<p>ウイルス性肝炎 1人（神戸市；B型；男性20歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触；ワクチン接種歴：無）</p> <p>カルバペネム耐性腸内細菌感染症 3人（①神戸市；女性80歳代；<i>Escherichia coli</i>（ESBL産生菌）；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、②神戸市；女性90歳代；<i>Enterobacter cloacae</i>；感染地域：兵庫県；感染経路：院内感染、③尼崎市；男性70歳代；<i>Klebsilla pneumoniae</i>（ESBL産生菌）；感染地域：兵庫県；感染経路：その他）</p> <p>劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人（①尼崎市；男性0ヶ月；感染地域：兵庫県；感染経路：その他）</p> <p>梅毒 5人（①神戸市；無症状病原体保有者；男性40歳代；感染地域：不明；感染経路：性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性20歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③姫路市；早期顕症梅毒Ⅱ期；女性40歳代；感染地域：不明；感染経路：性的接触、④姫路市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性20歳代；感染地域：不明；感染経路：異性間性的接触、⑤西宮市；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性40歳代；感染地域：国内；感染経路：性的接触）</p>
2022年第51週までに診断されたものの報告遅れ	報告はありません。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

今週 **3人** (先週 1人) の報告があり、今年の累積患者数は 80 人となりました。その内訳は、男性 42 人、女性 38 人で、80 歳代が 34 名、70 歳代が 17 名、90 歳代が 13 名となっています。

菌種別では、*Enterobacter cloacae* が 23 人、*Enterobacter aerogenes* が 15 人、*Klebsiella pneumoniae* が 14 人、*Klebsiella aerogenes* が 12 人から検出されています。

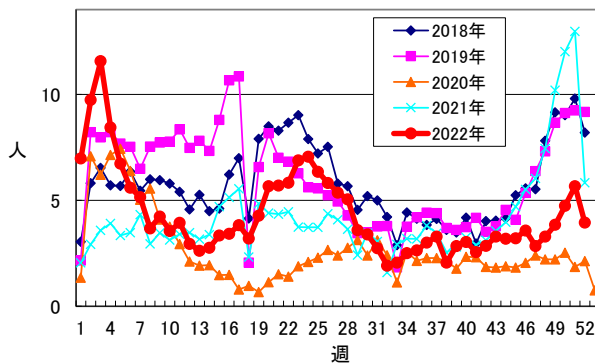
施設や病院での感染を防ぐために、手洗いの励行に加えて、ドアノブやベッド柵、水回りの環境などを介しての接触感染を防ぐことが重要になります。



目で見える動向 (県内)

感染性胃腸炎

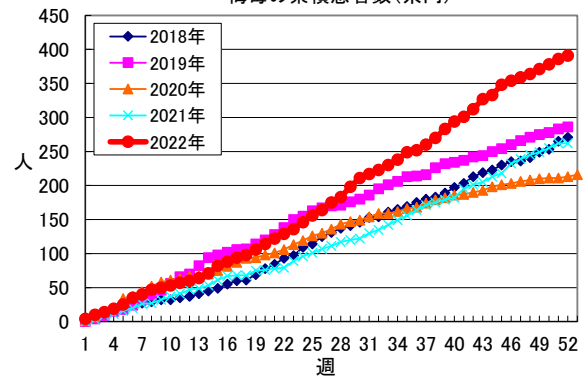
感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況(県内)



定点あたりの患者数は 3.95 人 (先週 5.67 人) で減少しました。今週 1 件 (先週 1 件) の集団発生が報告されています。

梅毒

梅毒の累積患者数(県内)



今週 **5人** の報告があり、今年の累計患者数は 391 人になりました。

この週報はホームページ (https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html) にも掲載しています。

4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報 (IDWR) がダウンロードできます。